



平成27年度 教育委員会 活動一覧

開催期日		研 修 事 項	参加者数
4 月	8 日(水)	H27年度看護技術 緊急時の対応（新規採用者） 防災訓練 消火器・消火栓・消防設備の取り扱い	24名
	13日(月)・14日(火)	院内研究発表（1階北病棟、2階病棟、3階病棟、4階病棟、5階病棟） （地域課、作業療法科・栄養科・2階、デイケア科・1階北、薬剤科・3階病棟）	170名
	17日(金)	社会医療法人公徳会佐藤病院 顧問 計見一雄先生「精神科急性期からの離脱」	88名
	22日(水)・23日(木)	Evening Studies 新年度の院長講演 「これからの精神医療と南浜病院の構想」	154名
	22日(水)	H26年度ケースレポート発表	44名
5 月	13日(水)	新規採用者1か月目研修	24名
	13日(水)・14日(木)	Evening Studies 業務改善委員会「電話対応」	117名
6 月	3 日(水)・4 日(木)	Evening Studies 医療安全対策委員会 「インシデント・アクシデント各部署での傾向と要因・対策（昨年度と比較して）」	135名
	10日(水)・11日(木)	アシスタント研修 「新たなゴミの分別方法」「事例を通じた基本的なかかわり」	39名
	17日(水)・18日(木)	Evening Studies 行動制限最小化委員会 「隔離と身体拘束に関する法律・拘束の手技について再確認する」	119名
7 月	14日(火)	拡大ケース検討会（3階病棟）	52名
	15日(水)	新規採用者3か月目研修 「KYT」「心理教育」「ディスカッション」「院長講演」	27名
	15日(水)	H27年度第2回プリセプター研修 「院長講演」「ケースから学ぶ」「ディスカッション」	17名
	22日(水)・23日(木)	Evening Studies 院内感染防止対策委員会・褥瘡対策委員会 「嘔吐処理セットの使用説明」「新たな褥瘡情報」	127名
8 月	6 日(木)	副院長講演「認知症とBPSD」	66名
	19日(水)・20日(木)	Evening Studies 褥瘡対策委員会 「移乗・移動に際して腰痛予防の知識、考え方を習得する」	98名
	24日(月)	新規採用者 外部研修「新人看護師に聞いて欲しい精神科看護の話」	8名
9 月	1 日(火)	Evening Studies 退院支援委員会「障害者就労支援事業の状況についての理解」	74名
	17日(木)	Evening Studies 人権擁護「刑務所の現状から人権を考える」外部講師	96名
10月	7 日(水)	H27年度第3回プリセプター研修	16名
	14日(水)	新規採用者6ヶ月目研修	24名
	16日(金)	三枚橋病院講演会 イーライリリー主催	80名
	20日(火)・21日(水)	第15回 S S T リーダー養成研修<初級>	14名
11月	10日(火)	拡大ケース検討会（1階北病棟）	109名
	13日(金)	千秋・島見勉強会	
	18日(水)・19日(木)	Evening Studies 院内感染防止対策委員会・褥瘡対策委員会 「ワクチンの製造株の傾向と副反応」「車椅子座位時の褥瘡発生を防ぐための知識を持つ」	124名
	25日(水)・26日(木)	Evening Studies 行動制限最小化委員会 「精神保健福祉法改正点について」	129名
12月	2 日(水)・3 日(木)	Evening Studies 医療安全対策委員会「CVPPP」	118名
1 月	7 日(木)・8 日(金)	Evening Studies 院長講演 「急性期病棟開設にあたって ～今何をなすべきか～」	129名
2 月	17日(水)・18日(木)	Evening Studies 退院支援委員会 「長期入院経験者からの経験談、支援について」	102名
3 月	3 日(木)	H27年度新規採用者1年目研修	23名
	3 日(木)	H27年度第4回プリセプター研修	13名
	30日(水)・31日(木)	H28年度新規採用者研修	27名
	31日(木)	H28年度プリセプター研修	9名

アクションプラン

新たな覚悟や目標がより具現化して職員一人ひとりが目標達成出来るよう、平成28年3月30日、31日の両日、平成28年度のアクションプラン発表会を開催しました。アクションプランのねらいやポイントは次の5つになります。

- ①職員が法人（病院）の理念・方向性を共有できること。
- ②職員自らが取り組み目標を設定すること。
- ③目標を達成するためのプロセスを明確にすること。
- ④目標を具体化し、客観的な評価が出来るようにすること。
- ⑤自ら定めた目標に責任が持てるよう、責任者や達成期日を明確にしていくこと。

このようなアクションプランを基に、スーパー救急病棟稼働を含め南浜病院の社会的意義と使命、期待と責任を全うするため、高い倫理観と確かな専門的知識・技術に裏打ちされた看護が実践できるよう努めてまいります。

【地域課】アクションプラン

■取り組み目標

1. 地域移行・地域生活支援の充実を含めた質の高い精神医療を推進していきます。
2. 相談、受診、訪問看護時に地域とのつながりを意識しながら、それぞれの業務や支援を強化していきます。

- ①自殺企図後の患者に対する継続的な指導
- ②向精神薬の適正な処方の推進
- ③医師及び看護師による認知療法・認知動法の実施

■地域課各部門の行動計画

◆相談（PSW）

かかりつけ患者へのアプローチ
救急患者受け入れ体制の整備
スキルアップのための勉強会の開催
新患受け入れのための活動

◆外来（Ns）

夜間休日救急対応の電子カルテ化
入院時の病棟との連携体制
退院時面接でサービスの向上を図る
待ち時間対策の取り組みの評価

◆訪問（Ns・PSW）

入院患者へ訪問看護導入アプローチ
外来、主治医、デイケア、地域サポートとの連携強化と緊急訪問が効果的に行われるような体制づくり
訪問看護ケア項目の内容を明確化し、継続した看護が実施できる方法や記載方法の改善
訪問看護サービスの向上

【南病棟】アクションプラン

■長期維持目標

充実したスタッフで治療プログラムを実施、
手厚い支援



- 「救急患者への良質な医療の提供」
- 「精神疾患・障害に起因する重大行為を未然防止」
- 「在宅患者の地域生活維持の支援」
- 「救急患者への良質な医療の提供」

■精神科救急病棟としての行動計画

- ・心理社会的療法とリカバリー
社会生活に支障を来している症状や状態が軽減するもしくは、改善するように個々に応じたリカバリーの方法を考え、生活機能や社会機能が回復できるサポートを提供
- ・症状や状態の評価と社会資源調整、退院時期の合致
- ・患者ミーティングの実施
・・・継続して治療、看護に反映
- ・適切な接遇を身につける
・・・接遇勉強会の実施
- ・精神疾患・障害に起因する重大行為を未然防止
- ・救急病棟の施設環境や新たな機能を評価し、事故防止策を施す。環境リスクの把握と改善
- ・病棟内死角、リスク想定箇所の巡回徹底
- ・患者との良い関係性づくり

■在宅患者の地域生活維持の支援

- ・3ヶ月以内で退院した患者の3ヶ月非再入院サポートの実施
- ・入院中から退院後の生活を見据えた社会資源調整
- ・一入院三面談の実施し地域関係者との連携



【2階病棟】アクションプラン

■基本方針 患者様の要望に応える

心のもった医療を提供することが目標です

- ・ 2階病棟は患者様への心のもった看護と快適さを提供することを、もっとも大切な使命とこころえます。
- ・ 患者様に心あたたまる洗練された雰囲気や常にご過ごせるために最高のパーソナル・サービスと施設を提供することに努めます。
- ・ 患者様が経験されるもの、それは感覚を満たすこころよさ、満ち足りた幸福感、そして患者様が言葉にされない願望やニーズをも先読みしておこたえする心です。

PLAN

1. あたたかい、心からのごあいさつを。
2. 一人一人の患者様のニーズを先読みし、おこたえします。
3. 感じのよいお見送りを。ごあいさつは心をこめて。
4. 入院される患者様の願望やニーズを理解し、ご期待以上の医療を提供するため、スタッフ自ら紳士淑女になることを心がけています。
5. 私達は2階病棟の一員であることを誇りに思います。

■行動方針

- ・ 強い人間関係を築きます。
- ・ 患者様の願望やニーズには、言葉にされるものも、されないものも、常におこたえします。
- ・ ユニークな、思い出に残る、パーソナルな経験を患者様にもたらし、エンパワーメントが与えられています。
- ・ 「成功への要因」を達成し、自分の役割を理解します。
- ・ 患者様の2階病棟での経験にイノベーションをもたらし、よりよいものにする機会を常に求めます。
- ・ 患者様の問題を自分のものとして受け止め、直ちに解決します。
- ・ 患者様やスタッフ同士のニーズを満たすよう、チームワークとラテラル・サービスを実践する職場環境を築きます。
- ・ 絶えず学び、成長する機会があります。
- ・ 関係する仕事のプランニングに参画します。
- ・ プロフェッショナルな身だしなみ、言葉づかい、ふるまいに誇りをもちます。
- ・ 患者様、職場の仲間、そして病院の機密情報および資産について、プライバシーとセキュリティを守ります。
- ・ 妥協のない清潔さを保ち、安全で事故のない環境を築く責任があります。
- ・ 病院に関わる人すべての幸せを願って。

【3階病棟】アクションプラン

■病棟概要

精神一般 59床 慢性期閉鎖
プライマリー＋チーム＋機能性

■病棟機能

長期入院者及び治療抵抗者の退院支援
他病棟の後方支援病棟としての役割を担っている

■27年度病棟目標

私たちは、患者との関わりを大切に、希望を現実につなげられるように支援していきます。

- ①患者・家族との関わりを大切に、少しでも退院につなげられるように支援していきます
- ②安全で清潔な環境づくりに努めます

■各プログラム活動

退院支援カンファレンス
自治会(利用者による病棟会議)
町内会(利用者による小会議)
朝の集い

■27年度の振り返り、評価

長期入院者への退院アプローチ困難
昨年度よりは患者と関われたと意識しているスタッフが多い



プログラム活動の開始、退院支援C F

Nsが行う2回/週の部屋清掃により、破損箇所の確認など環境整備の意識付けができた

■次年度のキーワード

「しっかりとつないでいく」
「より具体的に」

【4階病棟】アクションプラン

■看護目標

『患者様個々に応じた関わりを実践し、療養環境の保全に努めます』

- ・受け持ち患者様のニーズや状況を把握し、家族、多職種との連携を図る。
- ・接遇を心がけ、全ての方に笑顔で接します。
- ・ベッド周囲やヘッドギア・履き物の確認を行ないリスクの軽減に努める。



■行動計画 病棟プログラム

- ・回想療法の継続
- ・ユマニチュードの導入

『認知症患者だけでなく、ケアに関わる全ての人が穏やかに過ごせるようになる』

【5階病棟】アクションプラン

■看護目標

看護の継続性を図り、より充実した対象理解、看護ケアに努める。

「地域移行を見据えた看護提供」・「一貫した切れ目のない看護提供」・「継続看護提供と利用部署の役割」

■行動計画 地域移行と利用ニーズを柔軟に対応していける

- ・疾患を理解し適切な看護が提供できるように病棟内で学習の機会を設ける。
(月に1回程度)
- ・一人ひとりがカンファレンスで建設的な意見を出せるよう、学習の意欲を高める。
- ・退院してからも心身のコントロールが出来るようなプログラムを提供していく。



■現状に刺激を

長期に渡り病院生活を送る利用者の地域移行。

その方の地域移行に合わせた外出活動により地域生活を送るうえで、病院は地域の中の一つであることを認識し、地域生活への興味・意欲の向上を図るためにも、積極的に地域移行への働きかけを計画的に実践していく。

■日常業務での当たり前を振り返る

日常生活をおくる上で不可欠なコミュニケーションは、信頼関係を築く為、サービス提供者として利用者に不快を与えない対応が必要である事を日々の業務で実践する。